



平成 30 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 上野 真司  
(コード：2721 東証ジャスダック)  
問合せ先 取締役副社長 中野 章男  
(TEL. 03-6430-3461)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 16 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

1. 平成 30 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正  
（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期 純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,113	90	90	57	28.54
今回発表予想 (B)	967	95	94	57	28.47
増減額 (B-A)	△1,146	5	4	-	△0.07
増減率 (%)	△54.2%	5.3%	4.7%	-	△0.2%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	1,983	61	60	73	38.65

## 2. 修正の理由

当四半期累計期間における当社グループの業績は、株式会社アセット・ジーニアス（Web 事業）、株式会社ジェイスports（スポーツ事業）については、想定通りの売上、営業利益を計上する見通しであります。また、持株会社である株式会社ジェイホールディングス（管理部門）については、当初予算の範囲内での費用を計上する見通しであります。

一方、不動産事業を展開する株式会社シナジー・コンサルティング（以下、「シナジー社」といいます。）については、同セグメントの売上が当初予算を下回るものの、営業利益については想定通りの利益額を計上する見通しであります。

事業別では、区分所有不動産販売事業、及び区分所有不動産仲介事業については、当初想定の上、営業利益を計上する見込みであります。他方、一棟物不動産販売事業については、不動産市況が活況を呈し、売主の売却希望価格が上昇してきたこと等を理由として、当四半期累計期間において、シナジー社の仕入基準に合致する販売用不動産の取得が進まなかったことにより、売上高が 405 百万円（7 件）と当初想定 1,654 百万円（11 件）を下回ることとなりました。しかしながら、上記の通り、不動産市況は活況であり投資家の購入意欲も引き続き強いことから、一棟物不動産仲介事業は 251 百万円（31 件）と当初想定 227 百万円（24 件）を上回る売上を計上し、また、販売費及び一般管理費について想定より抑えることができたため、同セグメントとしては、売上高 857 百万円と当初想定 1,988 百万円から減収、営業利益 118 百万円と当初想定 110 百万円から増益となる見込みであります。

以上の通り、当四半期累計期間について、売上高が平成 30 年 2 月 16 日に公表いたしました業績予想を下回る見通しとなったため、業績予想を修正するものであります。

なお、当四半期累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、「法人税、住民税及び事業税」、「法人税等調整額」について精査に時間を要するため、前回発表と同額としております。

また、通期業績予想については、平成 30 年 12 月期第 2 四半期決算発表時に公表する予定であります。

（注）上記の予想は、本資料の公表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以 上